

あおい通信 第60号

世評・時評

先日テレビで電気自動車についての放映があり、その問題だとと思つた。話の中でこれは、業界における改革とか競争などではなく、すでに自動車としての革命とも言える事態ではないかと思われた。メイカーメーサンの話と、ユーワーとして試乗したアナルソンの感想を交えていろいろな角度からの討論だつた。この問題は地球温暖化を防ぐCO₂削減の手段として、最大の課題と乘せられた。あとは商業ベースに

乗せられたもののが関係者の努力によりほぼ達成に近い感がしました。あとでは商業ベースに

乗せられた。この問題は地球温暖化を防ぐCO₂削減の手段として、最大の課題と乗せられた。あとは商業ベースに



↑太田道灌、小林一茶にちなむ本行寺 一茶の碑→

写真・文 七海邦夫

岡倉天心記念公園からそのまま進むと三崎坂で、大円寺に前に出る。境内右手の二基の碑は、明和年間（一七六八頃）江戸一番の美人と騒がれた笠森お仙にまつわる永井荷風の碑と、絵師鈴木春信百五十回忌の碑である。

坂を少し下がると、江戸千代紙の専門店いせ辰、坂を上ると全生庵が開いた寺で、又の名を鉄舟寺。鉄舟は勝海舟のもとで江戸開城の下交渉に活躍し、新撰組を統率して研究を重ねて進歩すればする程、よりよい方向に進むだらうと思った。

日本で最初の種痘所を開いたシーポルトの弟子伊藤玄朴の墓がある。魯文の墓がある永久寺。先で三崎坂を上りきると、明治の戯作者仮名垣は、向いの天龍院。その後に現象によりほぼ無限に近い電力を得る方法についても採用される事を夢みたいと思う。それにしてもまだ現実は厳しく、つまらぬ政争や人間同士のトラブル私自身のリハビリ

が始まりの甘味処、内に内蔵がある木造三層建では都指定登録文化財、串揚げ屋膳三五〇円、みやげ料金七九〇円、ばん亭（カントンティーハウス）、愛玉（オーキヨーティー）、見塚（カントンティーハウス）、玉子（オーキヨーティー）、台湾山麓にある桑科の果樹園（カンテンティーハウス）、愛玉（オーキヨーティー）、見塚（カントンティーハウス）、玉子（オーキヨーティー）、

東京江戸散歩 その式拾 谷根千④

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります

雨上がり	蛤の夜更けて動く	木の芽煮や香り懐かし母の味
柳の道に傘の花	揺れ止まぬ日本政局	今井良子
山村匡子	春風	春風
木の芽煮や香り懐かし母の味	音かすか	音かすか

あおい「俳壇」

治の絵師河鍋暁斎の墓

治の二十一世住職日坦は、一瓢と名乗る俳人だったことから、一茶は本行寺を好んで定宿とし、しきりに句会を開き俳友たちと交わっている。

◆編集委員会より
「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。担当飯島迄お申し出ください。

次回からは「芝」周辺

立寄りたいスポットとしては、赤塚べつ甲店、圓圓（サンケンマ、大正時代の風情ある日本家屋を使つたイベントスペース）、すし乃池（穴子が看板のすし店、穴子三舟に挙げられ、その一方、咲家三遊亭円朝の芸合せに仲良く眠つていて、鐵舟と円朝の兩人は、おどろおどろしい怪談を演じて多くのファンを魅了した円朝にちなみ、毎夏、怪談ものの高座がかかるほか幽靈画の特別展も開かれる。日本で最初の種痘所を開いたシーポルトの弟子伊藤玄朴の墓がある。魯文の墓がある永久寺。右岸奥の瑞輪寺は江戸開幕の時、神田上水を開いた大久保主水（モント、水を扱つたのでモンドと濁らない）や堀川から明治の絵師河鍋暁斎の墓

